日本海事史学会 第406回 例会（Web例会#25）

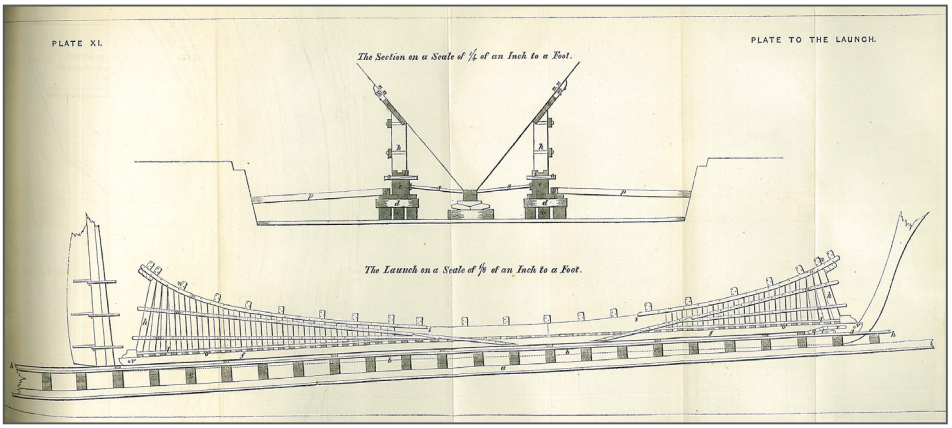
クレードルによる進水の歴史
――そしてヘダ号、開成丸、戦艦武蔵

参加費無料

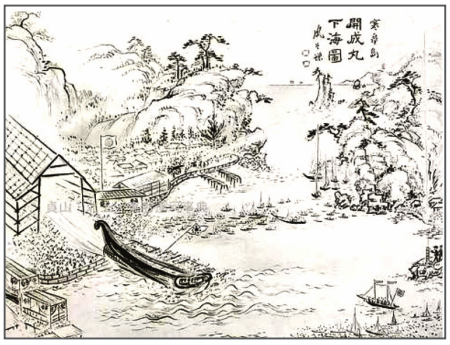
■講師：山田（やまだ） 義裕（よしひろ）

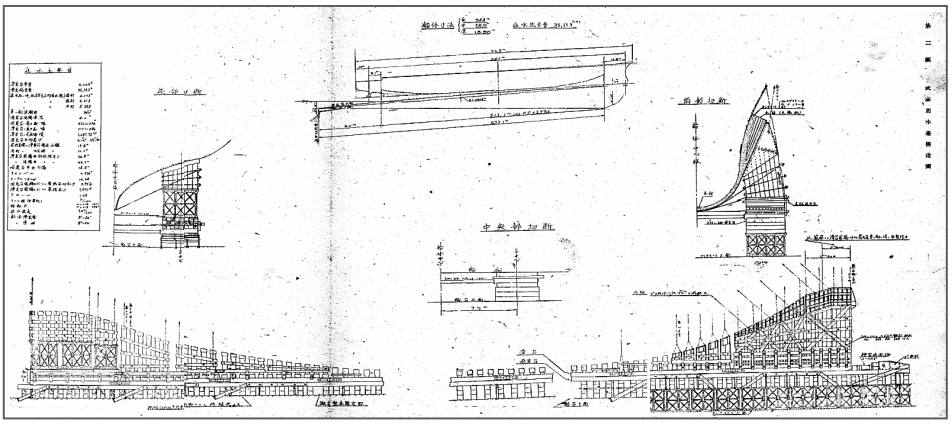
2022年12月17日（土）14:00～16:00　Zoomにて開催（ルームオープン 13:30）

昔も今も進水は造船の中で最もクリティカルな工程である。そのリスク軽減のためにクレードルが使われ、17世紀のイタリア、ポルトガル、スペインにおいてその図像と解説が現れた。18世紀以降は、主にフランスと英国の書物の中で、それらの特徴と進化の過程を知ることが出来る。日本では幕末に、失った船の代船としてロシア人の指導の下にヘダ号を建造した時に始めてクレードルの使用を学んだ。仙台藩の開成丸の進水の図にもそれが認められる。これらを紹介し、最後に最大の戦艦であった武蔵の進水に話を及ばせたい。



1855年に英国の造船書に載ったクレードル


開成丸下海図（仙台市博物館所蔵）


戦艦 武蔵 進水台構造図（造船協会会報第79号〔昭和23年12月発行〕「軍艦武蔵の進水工事」古賀繁一・大宮丈七）

■山田 義裕（やまだ よしひろ）
日本海事史学会会員

1968年に早大政治学科を卒業し、現在の日本製鉄に入社。スペイン、ブラジル、メキシコに滞在。
1973年に当会に入会。海外では「国際海事技術史会議」参加メンバー。
16-17世紀のスペインとポルトガルの造船史と航海術史が主たる関心分野。

●関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には12月14日（水）までにご連絡いたします。

●会員にはメールでご案内をお送りしています。
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■申込〆切：2022年12月13日（火）正午（12:00）
■申込先：kaijishi.web@gmail.com（担当：大野）
メールの件名を「日本海事史学会Web例会申し込み（非会員）」として、本文にはお名前をお書きください。

［今後の例会 開催予定日：2023年1月28日（土）・2月18日（土）・3月25日（土）］

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行（年1回）／総会（年1回）・例会（8月と総会開催月を除く年10回）など

日本海事史学会 The Japan Society for Nautical Research
ご入会随時受付中　https://kaijishi.jp/
〒104-0043　東京都中央区湊2丁目12番6号 湊SYビル3F 日本海事広報協会気付
メール：kaijishi.info@gmail.com